



ル一
テル

藤が丘だより

発行 月報委員会

発行日 2025年8月3日

No. 135

しかし、必要なことはただ一つだけである。
マリアは良い方を選んだ。それを取り上げてはならない。

ルカによる福音書 10章42節・新共同訳



わたしの隣人に対して、一人のキリストになろう

喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。

ローマの信徒への手紙 12章15節

ルター派キリスト教会 日本福音ルーテル藤が丘教会 牧師 佐藤和宏
〒227-0043 横浜市青葉区藤が丘2-31-21 tel 045-973-2729/ fax 045-439-7009
URL:<https://www.jelc-fujigaoka.org/> mailto: fujigaoka@jelc.or.jp



先週、善いサマリア人のたとえから聞きました。それに続く今週の日課は、別々の話としてではなく、両者に見られる関連性に目を向けることが大切だと思うのです。

先週のたとえが語られる直前の場面を思い起こしてみましよう。「何をしたら、永遠の命を受け継ぐことができるか」と問う人に対し、「律法にはなんと書いてあるか」と尋ね、その人は「心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。また、隣人を自分のように愛しなさい」と答えました。イエスが「正しい答えだ。それを実行しなさい」と言われたため、この人は「わたしの隣人とはだれか」と尋ねたのです。これを受けてイエスは、善いサマリア人のたとえを話し始められたわけのです。

先週の日課において、主題とされたのは「隣人を自分のように愛しなさい」という、律法であるとわかるのです。しかし「永遠の命を受け継ぐには」もう一つの戒めが示されていたのです。それは「あなたの神である主を愛しなさい」という命令になります。

これを踏まえて、今日の日課にもう一度目を向けますと、「必要なことはただ一つだけである。マリアは良い方を選んだ」とイエスが言われているのは、神を愛するということについてであると分かるのです。マリアの姿に、私たちが神を愛する、その最も良い、ただ一つの方法が示されているということなのです。マリアは主の足もとに座ったのですが、ここで「座る」と訳されているギリシャ語は、「自分の場所を誰かの傍に取る」という意味を持っているのです。イエスの傍を自分の場所として、主の語られることに聞き入る

ということです。

ここで「もてなす」という言葉に戻りましょう。イエスが「人の子は仕えられるためではなく仕えるために、また、多くの人の身代金として自分の命を献げるために来たのである。」(マルコ 10 章 45 節)とされましたが、「もてなす」はそこで「仕える」と同じ言葉である事実を目を向けたいのです。

「もてなす」というと、私たち人間がもてなすというように、私たち人間が主語と考えるでしょう。マルタがもてなし、やがて周りに引っ張られたのも、もてなしの主語がマルタ自身であったからにちがいません。

しかし今日、主イエスが言われていることは、「人の子は仕えされるためではなく仕えるために（来た）」ということなのです。

人が主語となった「もてなし」を喜ばれる主ですが、本来主は「仕えるために来た」、つまりもてなすのは私たち人間ではなく、主ご自身であるということなのです。

礼拝のことを英語で「サービス」という言葉で表現することがあります。「サービス」とは、給仕するという意味になりますから、アブラムが旅人をもてなしたように、私たちが神をもてなすことと重ねられるでしょう。しかしルターは礼拝について、私たち人間が神に仕えるのではなく、神が私たちに仕えてくださるときと考えました。つまり礼拝とは、私たち人間が神にではなく、神が私たちに仕えてくださるときというわけです。礼拝について、私たちが主語となるのではなく、主ご自身が主語となってくださるということです。ですから礼拝において私たちは、そのもてなし、神の奉仕を受けるのです。これこそ「主を愛する」ということなのです。

半日修養会報告②

～実行委員としてまた参加者として学んだこと～

田〇〇夫

・『深み』

「孤独をあまり感じた事がない」「忙しくしているので孤独なんて考える余裕がなかった」「孤独ね～」「家族といっても孤独を感じることはある」などなど実生活を踏まえたお話しには強く心が惹きつけられ、更には「孤独は生きている以上拭い去る事ができない」「声をかけあう程度の関係性が望ましい」との以前の委員会での打ち合わせで伺った言葉も同時に思い出されました。お話を伺いながら孤独や人との関係というものを一人一人が実はしっかりと見つめ自分なりの対処と解決策を見出している事実に正直驚き頭が下がる思いでした。そして、後期高齢者にもうすぐなろうとしている自分の生き方とのはっきりとした差があることを突きつけられ浅はかな人生観しか持ち合わせていない自分にちょっぴり恥ずかしさを味わった瞬間でもありました。

「孤独をあまり感じた事がない」というある方のお話に、それは一体どのような心の有り様なのかと頭の中は支配されました。私の想像を遥かに超えた発言内容をどう理解したら良いのかと悩んでいるとき、ふと、もしかしたら「孤独」というものを意識レベルの領域を超えて上手に「コントロール」しているのではないかとぼんやりとでしたが一つの答えを見つけ出していました。それは、もしかすると「孤独を飼い慣らしている」と言い換えることができるようにも思えました。そこで、ならば「孤独」をコントロールしたり飼い慣らすためには何が必要なのか、と走馬燈のように頭の中で自問自答を繰り返しているといつの間にか「深み」というふた文字が目の前に浮かび上がって来たのです。「深み？」と不思議に思ったのですが、走馬燈を止めて

冷静に見つめてみれば「深み」という言葉が今回のサブタイトルに何かピッタリと嵌る言葉のように思われ、自分を「深く」見つめてゆく、それこそが「孤独」をコントロールし飼い慣らしてゆくことのできる大きな要因となるのではないかと確信なき結論をその時に見出したのでした。ありていな言い方に置き換えればそれは「品位」という言葉になるのかもしれませんが。要するに自己を深めてゆく進行形的な生き方こそが「孤独」というものを手懐けてゆくキーワードであると合点したのです。ただ、そうはいくものの「自己を深める」と語るのは簡単ですが、自分を見つめつつ日々を過ごしてゆく、それはそんな容易いことではないと思えたのですが、ウキウキできる楽しい人生の目標を持ちつつ充実感の味わえる日々を過ごせば、その先にはきっと孤独を飼い慣らし共存してゆくことが可能になるのではないかと思いついたのでした。

・信仰者との交わり

聖書の神が与えてくださった信徒の皆さんとの交わりが自らを見つめてゆく機会となり、更にはそれらを通して心身を成長させてくれる源になると実感させていただいた今回の修養会でした。とはいうものの肝に銘じなければならぬ事は、同じ信仰を持っていてもその関係性に甘え（依存）ばかりではダメだという教訓です。深める努力があってもこそ初めて豊かな交わりが与えられ、それを「よし、よし」と神様が祝福してくれるのでしょう。今後、充実した日々を追い求めつつ良き交わりが続けられるようにと願っています。

【編者注】好評につき、次回「半日修養会」を計画中です。お楽しみに。

●聖書月間 2025 (前編)

○木○子

6月22日礼拝後、清重先生を囲んだ和やかな昼食会を挟んでお話が始まりました。

タイトルは「とんでもヨナに学ぶ」。旧約聖書と言うと難く捉えがちですが、今回はワクワクさせられるタイトルです。

私にとって旧約聖書は、聖典でありながら、壮大な歴史書との印象が強く、どちらかというと馴染みの薄いものでした。聖書月間委員として先生に講演を依頼するとき、少々難題かなとは思いつつ、「旧約聖書にまつわる謎や興味深いお話を」とお願いしました。

預言者ヨナは「大都市ニネベへ行き、人々を悔い改めさせよ」と言う神の命令を拒否して、船でヤファと言う別の場所に逃亡するのです。

しかし自然を支配する神は、ヨナを見逃すことはせず、嵐で船を転覆寸前にさせ、おまけに海に投げ出されたヨナを魚に飲み込ませる、なんともスペクタクルな、冒険物語のような展開です。

ここでなぜヨナが神の命令に背いて、自らの心の赴くままに行動したかに焦点を当ててみます。

実は、彼にとってニネベは民族的に憎悪する敵国、その敵国へ出向き、人々を悔い改めに導き、滅びから救い、神の憐れみを得させる、という行動はヨナには、今風に言えば、「意味わかんないし～危険」だったのでしょ。

最初、遠巻きにヨナを見ていた私ですが、「ヨナの怒りを現在の世界情勢に置き換えると分かりやすいですよ」という先生の助言で急に腑に落ちました。意味がわからないから逃げる、ヨナは私かもしれないと。未だ私の中に正解はありませんが、ヨナに突きつけられた問いかけはとても深いものでした。

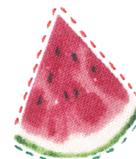
(次号に続く)

今月、 受洗記念日を迎えた方

24日 ○田○郎兄



おめでとうございます。



わたしの隣人に対して、一人のキリストになろう
「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」
ローマの信徒への手紙12章15節

●藤が丘教会の情報は、右のQRコードから



●女性会だより

7月20日 女性会参加者 10名
司会、祈り 江○姉 讚美歌 337番

- 1 聖書の学び 「憎しみ」
マタイによる福音書 5章22節
「兄弟に腹を立てる者 [怒る者] は
誰でも裁きを受ける。」

- 2 女性会例会
①26期女性会連盟役員会報告
②100年記念総大会について
2027年6月3日、4日。
大阪教会にて
③在り方検討委員会報告

次回は9月21日



👉スマートフォン
で、こちらのQRコード
を読み込むと、教会
のさまざまな情報を、
確認出来ます。